

公立大学法人岩手県立大学 事業年度業務実績評価に係る評価1次案作成方法

1 項目別評価

(1) 全般的事項

項目別に各委員からの評価を点数化し、その平均値で評価を決定する。

AA=5、A=4、B=3、C=2、D=1とし、その平均値により5段階評価を決定。

$5 \geq AA > 4.5 \geq A > 3.5 \geq B > 2.5 \geq C > 1.5 \geq D \geq 1$

(2) 特記事項

- ① 「AA評価（特筆すべき進行状況にある）」については、次の選定基準により積極的に評価する。

【AA評価（特筆すべき進行状況にある）の選定基準】

法人の業務実績報告書において特記事項に掲げられている項目のうち、次に掲げる事項と認められるもの。

- ① 年度計画に掲げる取組を達成しつつ、更に中期計画に沿った取組が付加・実現されているもの。
- ② 取組の結果、何らかの成果が明らかになっているもの。

(AA評価の例)

- ・ 年度計画において、「制度の創設」を当該年度の取組としていたものについて、実績において「制度を創設」したことに加え、「制度を運用」した場合
- ・ 積極的な県内企業訪問の結果、県内求人数が増加した場合 など

- ② 教育研究等の質の向上に関する項目については、教育研究の特性で数値に表れない部分もあることから、取組の外形的・客観的な進捗状況を見て評価する。

2 全体評価

項目別評価の結果を踏まえ、法人が行った全体的な進行状況を参考に各委員が記述式により評価したものを事務局で取りまとめ、1次案とする。